

たわわ

TAWAWA

地域で生きる障害者を支える会通信

発行 2008年12月号

93号

NPO法人

「地域で生きる障害者を支える会」

住所：横浜市港北区下田町6-31-8

活動ホーム「しもだ」内

TEL 045-562-3600

FAX 045-562-5991

私たちにとっての激動の一年を踏まえ

皆で次のステップへ取り組もう！



アッと気がつけばクリスマス。折々の季節を楽しんで...などと、言いつつ迎える年の暮れですが、皆様はいかがお過ごしですか。毎日のニュースを見聞きするたび、それどころではないかも...と。「アメリカがくしゃみをすれば日本が風邪をひく」といわれていましたが、まるでインフルエンザですね。脆弱な基盤の上に成り立っていた繁栄が、その弱いところの人たちを直撃しています。

* * *

先日開いた、支える会の理事会では、皆で簡単な振り返りをしました。

グループホーム支援では、昨年のはじめは、支援するグループホームのまさに存亡をかけて、必死の日々が続きましたが、お蔭様でこれまで心意気に頼るところのあった仕事も、正規に整備し、ホームヘルパーも居宅介護の一部を残し、重度訪問介護へ変換することで夜間の介護体制を減らすことなく続ける事ができました。とはいえ、誰でも良いというわけにはいかず、引き受けてくれた事業所や、ヘルパーさんたちには感謝しています。職員体制は、4月から新人も増えましたが、尚女性職員の欠員があり、4人のアルバイトが支えています。

啓発事業の「写真展」は、ことしは『自立への道』をテーマに一週間取り組みましたが、これまでとの違いが、いまちはっきり打ち出せず、7回目への課題かと思っております。

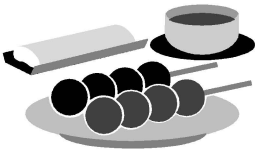
ただ、外へ向けて当事者や親たちが直接働きかける機会としては、なかなか名案も無く、会場での再開を楽しみにしている方たちもあり、来年2～3月に研修会を組んだ臨時的総会を開いて、議論したいという事になりました。

地域福祉のほうも充実とは程遠く、課題も多い中、「地域で生きる障害者を支える会」の任務は、まだまだ続きますが、担い手の高齢化を見据えた、**次世代の育成と活動の方向性**についても、皆さんのご意見がほしいところです。

「たわわ」は、会員や関係者への通信、グループホームのある地域への回覧による広報活動のため、これまでどおり不出来ながらお届けして参ります。ぜひ気軽に手紙やファックスなどでご意見をお寄せくださるようお願いしております。紙上で、会員同士の交流が出来れば嬉しいと思います。

——この部屋で会話をするのはいろいろな人——

今日は家族会でのひとコマ...「しもだの給食」談議。



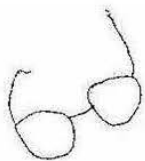
◇ 『活動ホームしもだ』の給食を担当してきた非常勤職員の徳永さんが退職されます。

- ◇ もう、そんな年齢だったかしら... 最も、「しもだ」も出来てから20周年記念を済ませたんだからね... そうなるかしらね。
- ◇ 「しもだ」が建設された初めのころは、給食を担当する人を手当するのが大変だった。障害の重い人たちにとって、昼食はただ単に3食のうちの1食というだけでなく、朝晩に比べ、体調の整う日中での食事ということで、大切。だから私たちも給食には、一番初めから力を入れてきた事だけに、何とか早く安定させたかった。
- ◇ それには、ちゃんとした献立はもちろんの事、人手の確保も必要だった。はじめは作業所よつばホームのメンバーだけだったからなんとかこなしたけれど、半年後にコスモス作業所も発足するとメンバーも倍に増えて、この地域の「市民の会」の方の応援や、養護学校時代の川崎市のお母さんにも交代で支えてくれたり。家族も当番で入ったり...
- ◇ 徳永さんが、来てくれたのは、ふれあい運動会に、たくさんのお弁当を作ってきていて、私たちまでご馳走になったりしたのだけど、「あの方、お料理が好きそうだし、いっそ給食ボランティアとして毎日きてもらえないかしら....」という事になった。それで毎日来てくれる“スタッフの核”が出来たわけですよ。
- ◇ 私たちも『徳さん、徳さん』てね...。親しいだけに、いろんなやりとりもあった。そこへ地域のボランティアのかたたちに曜日を決めて来ていただいて、一応毎日3人のスタッフ体制ができた。中華の得意な人、韓国料理の得意な人、調理師の人... ってね。家族会でも給食会議で献立を作ったり、会計を担当したりしたわね。
- ◇ 「しもだ」が強化型活動ホームになって予算もついて、徳永さんも有償ボランティアから非常勤職員になって、やっとここ5~6年は、職員におまかせになってきた。
- ◇ なんか、一つの歴史よね。「しもだ」の。献立一つにも、愛情と工夫があって...。結局“親たちの願い”が実現して継続されていくのには、そうとうの努力と支えが必要だったのだけど...
- ◇ これからも、力持ちではなくなるけど、ちゃんと見守っていかなければね。長生きして....
- ◇ ほんと、子どもたちより一日でも長く生きたいわ。アラ、どうしていつもここへ落ち着くのかしらね。と皆大笑い。

俳句

初霜を ふんであそんだ おさなき日

高島 勢津子 (よつばホーム 入居者)



めがねの声

◆小学生の皆に聴いてほしかったこと...

12月にはいつも人権週間や障害者の日があって、小学校でも勉強をする日があります。今年も頼まれて私も日吉の矢上小学校に行きました。

私は 打ち合わせのために学校に行きました。5年前に立て直したところはエレベーターや障害者トイレがあったりバリアフリーになっていて驚きました。

もっと驚いたのはお話をする日に行くと 下駄箱のある入り口のところで「あっ 大原さんだ。おはようございます！」と皆が名前を呼んで 声をかけてくれました。

お話をしているときも ちゃんと姿勢よく聴いてくれて質問もたくさんありました。

* * *

学校の先生は、打ち合わせのとき、「友子さんのことや、思っていることを話してください」といわれました。いままでは 活動の写真を見せて、グループホームの事や活動ホームや作業所のことを中心に 紹介していましたが、今度は 私がいつも言いたいと思っていたことも話しました。学校に通っていた頃から、いろいろな事を教わったり、訓練をしていただいた事などを 話したかったのです。それで、こんな事を伝えました。

* * *

* 私は、いろいろな障害がありますが、一番困る事は、言葉が不自由な事です。普段は、文字盤や、紙などに書いた筆談や、ゼスチャーなどで伝えますので何かをしながら、会話をすることは出来ません。大切な事は、きちんとそばに座ってもらって伝えます。それで 困るのは、新しい職員やヘルパーさんやともだちが来るとき、理解してもらうまでに大変時間がかかることです。いろいろな人と関わらなければいけないので不便です。

* 良かったと思うことは、たくさんの人たちやともだちに会えて、今でもいろいろ教えていただいたり 助けていただけることです。

私は、絵が好きだったので、小さい頃から母が障害のある先生をさがしてくれました。先生は、重いキンジストロフィーという病気でした。「友子は、絵よりもっと障害者の生活の勉強をなささい。」とって電動車いすに乗る事からはじめました。そして今も細かい心の事まで教えていただいたり 相談したい思う ともだちです。

また、青年クラブのボランティアさんたちや、たくさんの方たちの助けで 一人で電車に乗ったり、パソコンを使う事などをおぼえました。ボランティアさんと 買い物や生活の練習などもしました。そのとき そのときは いつも大変でしたが 今はたくさんのもだちとして 見守って下さるので 私はとてもしあわせです。

* 皆さんも ぜひ仲間や ともだちを大切にしてください。私からの 願いです。

後から 質問があったりして「障害者は苦しい事ばかりだと思っていたけど、写真を見て楽しいことも多いのだとわかって 安心しました」という感想も聞いて、私もよかった... と思いました。

大原友子

今月のよつばホーム

よつばホーム

クリスマスイルミネーションが街を彩る季節になりました♪

12月24日のクリスマスイブ☆ よつばホームもクリスマスモードです☆

この日はいつもの夕食メニューと違ってクリスマスメニューになります。

お寿司・ピザ・サラダ・ローストチキン♪ そしてクリスマスケーキ♪ ごちそうがテーブルいっぱいになります。

いつもの夕食では一番遅く席につく次郎さんですが、この日は誰よりも早く出てきて、ピザを確認します。(ちゃんと頼まれたピザは買いましたよっつ ヽ(^o^;)オイオイ)そして「カレーピザは花さん。スモークサーモンピザは勢津子さん。」と選んでくれます。

おまけに今日は特別なのか、普段使わないきれいな皿を食器棚から持ってきてテーブルに並べて、テンションアゲアゲで歌ってます♪

職員がシャンパンを「ボン！」と開けたと同時に、みんなそろって「メリークリスマス！」の掛け声でパーティのスタートです。

美味しいごちそうに満足しながらクリスマスイブの夜を過ごしました。

今年1年ありがとうございました。

どうぞよい年をお迎えくださいますようお願いいたします。



第2よつばホーム

冬が一層深まり温かいものが恋しい季節になりましたね。

今月13日の土曜日に、男性入居者の阿部さんと山田さんが高田中学校で開催した音楽会に行ってきました。

午前中はグループホームでゆっくりと過ごし、お昼ご飯を食べてから介護タクシーで出発しました。

阿部さん山田さんとも天候にも恵まれての外出で、とてもワクワクした様子に見えます。タクシーの中ではどんな音楽が聴けるんだろうねと話しながら現地へ向かいました。

音楽会は一番前の席に座り音楽を楽しみました。クラシック音楽やオペラが耳に心地よく響いて、2人とも満喫したようです。

帰りのタクシーの中で「今日のコンサート良かったよね〜♪」と話しながら帰宅しました。

2人とも終始笑顔！スタッフもこの笑顔でホッとします。また行こうね！と言いながら帰宅しました。

今年もたくさんの方々にお世話になりました。来年度もよろしくお祈りいたします。